

講義要項

授業科目		日常生活援助技術(生活環境技術・睡眠・休息)		担当者	向吉 喜美代		
区分	単位数	時間数	授業形態		履修年次・前/後		
	1 単位	15(30) 時間	講義・演習・DVD・その他		1 年次・前期		
授業目標	1. 対象の健康生活の維持や疾病回復のための生活環境について理解する。 2. 病床・病室の環境調整の方法を理解する。 3. 対象の状態に合わせたベッドメーキング・リネン交換の方法を取得する。 4. 姿勢を保つこと、身体を動かすことの意義を理解する。 5. 日常生活における睡眠・休息の意義を理解する。 6. 睡眠のメカニズムを理解し、睡眠を妨げる因子を理解する。 7. 睡眠がもたらす身体的変化を理解する。 8. 睡眠・休息への援助方法を理解する。						
授業内容	1. 生活環境調整技術 1) 環境とは 3) 環境調整の意義 5) 病室の環境とその調整 7) リネン交換 2. 睡眠・休息 1) 睡眠・休息の基礎知識 3) 睡眠を妨げる要因と身体的変化 2) 環境因子 4) 環境調整における看護者の役割 6) ベッドメーキング 2) 睡眠のメカニズム 4) 睡眠・休息への援助方法						
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(3), 基礎看護技術 II, 医学書院. 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院. 3. 配布資料						
評価	1. 単位修得試験 2. その他、演習状況も加味する。						
備考	実務経験：看護師・助産師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。						

講 義 要 項

	授業科目	日常生活援助技術(活動・姿勢)		担当者	松下 幸一郎		
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後		
	1 単位	15(30)時間	講義・演習・DVD・その他		1 年次・前期		
授業目標	1. 姿勢を保つこと、身体を動かすことの意義を理解する。 2. 良肢位の概念を知り、体位の種類と目的を理解する。 3. ボディメカニクスの定義と活用の実際を学ぶ。 4. 体位変換時、移動時にボディメカニクスの定義を活用し、安全・安楽に実施できる。 5. 姿勢と体位の援助に関する安全について学ぶ。						
授業内容	1. 活動・姿勢 1) 姿勢・活動に関する基礎知識 2) 体位の種類と特徴 3) ボディメカニクスの定義と活用 安全・安楽な体位変換と移動 4) 5) 移動・移送時の留意点とその実際 6) 姿勢と体位の援助に関する安全						
参考文献等	1. 統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(3), 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院.						
評価	1. 単位修得試験 2. その他、演習状況も加味する。						
備考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。						

講 義 要 項

参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(3), 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院.
評価	1. 単位修得試験試験 2. 演習・課題レポート 3. 授業・演習態度等 4. 出欠状況
備考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。

講義要項

授業科目		日常生活援助技術(食事・栄養)		担当者	中村 美和子		
区分	単位数	時間数	授業形態		履修年次・前/後		
	1 単位	15(30)時間	講義・演習・DVD・その他		1 年次・後期		
授業目標	1. 対象の栄養状態および食欲・摂食能力のアセスメント方法を理解する。 2. 食事介助の具体的な方法を学ぶ。 3. 非経口的栄養摂取の援助の概略について理解し、経鼻経管栄養法の具体的方法を学ぶ。						
授業内容	1. 食事援助の基礎知識 1) 栄養状態および摂食能力、食欲や食に対する認識のアセスメント (1) 栄養状態のアセスメント (2) 水分・電解質バランスのアセスメント (3) 食欲のアセスメント (4) 摂食・嚥下能力のアセスメント (5) 摂食行動のアセスメント (6) 食生活変更の必要性、患者の認識・行動のアセスメント 2) 医療施設で提供される食事の種類と形態 2. 食事摂取の介助 1) 援助の基礎知識 2) 援助の実際 3. 摂食・嚥下訓練 1) 援助の基礎知識 2) 援助の実際 4. 非経口栄養摂取の援助 1) 経管栄養 (1) 援助の基礎知識 (2) 援助の実際 2) 中心静脈栄養						
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(3), 基礎看護技術II, 医学書院. 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院.						
評価	1. 単位修得試験、出席状況、授業態度						
備考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。						

講 義 要 項

	授業科目			日常生活援助技術(排泄)	担当者	中村 美和子			
区分	単位数	時間数	授 業 形 態			履修年次・前/後			
	1 単位	15(30)時間	講義・演習・DVD・その他			1 年次・後期			
授業目標	1. 排泄の意義を理解し、排泄障害が人間に及ぼす影響を学習するとともに排泄障害のある患者に対する援助方法を学ぶ。								
授業内容	1. 排泄ケアに関する基礎知識 1) 健康生活における排泄の意義. 2) 排泄（排尿・排便）のメカニズムについて 3) 排泄に影響を及ぼす因子について 4) 排泄の正常・異常について 5) 排泄障害が患者に及ぼす影響 6) 排泄における看護の役割 2. 排泄の援助 1) 排泄に必要なアセスメント視点 2) 排泄行動の制限によって生じる看護上の問題を明らかにする。 3) 対象に適した排泄の援助方法を選択 4) 排泄行動に制限のある患者への基本的な援助方法 尿器・便器・ポータブルトイレ 3. 排便障害とその援助の実際 浣腸・摘便 4. 排尿障害とその援助の実際 導尿・尿留置カテーテル・おむつ交換								
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(3), 基礎看護技術 II, 医学書院. 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院.								
評価	1. 単位修得試験、授業・演習態度 2. 日常生活援助技術：食事・栄養 50 点 排泄 50 点								
備考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。								